別紙２

# 異文化理解促進プログラム協力講師　自己紹介

※公開可能な内容のみ記載ください。



名前：ウォンドーオッセン・ア・テジェネー
職業：留学生
所属：広島大学
専門分野：開発政策
日本語レベル：初級（日常会話は少し／学習中）
英語レベル：ビジネスレベル（流暢）

出身国や外国で過ごした経験について教えてください：
はじめまして、私はエチオピア人です。私の母国であるエチオピアは、東アフリカにあり、悠久の歴史と豊かな伝統文化を持ち、コーヒー発祥の地や世界的なマラソン選手の輩出国としても知られています。これまで日本をはじめ様々な国で暮らす機会に恵まれ、かけがえのない素晴らしい経験となりました。規律ある日本社会に深く敬意を抱いており、飾らず実直な日本の方々の人柄が大好きです。

広島の児童・生徒たちにどんなことを学んでほしいですか：
日本、そして世界の未来を担う次世代の若者には、広い視野を持って世界を学び、文化や言語の壁を越えた対話力を身につけてほしいと願っています。
そうした経験は、個人の人生をより意義深く豊かなものにするだけでなく、将来的に日本社会への貢献へとつながる大きな力になると確信しています。

自己紹介を自由に記載してください（写真などもお使いください）：
はじめまして、ウォンドーオッセンと申します。エチオピア出身です。現在は広島大学大学院の政策プログラムにて、博士課程に在籍しています。なお、キリスト教を信仰しており、豚肉は口にいたしません。
性格は気さくで親しみやすく、誰とでもオープンに話すことができます。これまでエチオピアにおいて実務経験も積んできました。また、かつて生活し学問に励んだ大分県と広島県は、私にとって今でも心から愛着のある特別な場所です。
地域の伝統文化や食、日々の暮らしについて学ぶことが大好きで、子どもたちと触れ合う活動にも深いやりがいを感じています。私の参加を通じて、相互の文化理解を深め、外の世界への探求心を刺激するきっかけを届けることができれば幸いです。
特に、私の母国について知ってもらうとともに、「地球市民の育成」に向けた私の視座を共有したいと考えています。